

平成26年度富士見市水道事業会計予算（概要）

1 予算概要

(1) 予算編成概要

水道事業を取り巻く状況は、厳しい経済状況のもと、生活様式の多様化や節水機器の普及などにより、給水収益が微減となる中で、老朽管更新事業、浄水場改良工事及び配水管改良工事等に多額の費用が必要となっている。

こうした厳しい経営状況の中ではあるが、安心・安全で安定的な供給に向けて施設の計画的な整備と維持管理に努めて予算を編成した。

また、地方公営企業法の改正により、見直しが行われた地方公営企業会計基準に基づき作成される初めての予算となる。

(注) アンダーラインの部分が新会計基準に基づく新たな項目

(2) 予算規模

平成26年度予算は、消費税率の引き上げを受け、収入支出ともに前年度より予算規模は大きくなっている。

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は、前年度比7.50%増の17億9,901万4千円、支出は、前年比7.43%増の17億2,387万7千円で、収支差引では、7,513万7千円の黒字となっている。

税抜きの数値で前年度と比較した場合、収入の増加率は4.84%、支出の増加率は4.47%となる。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は、前年度比6.89%増の481万円、支出は、前年度比11.97%減の6億1,444万7千円となり、収支差引では6億963万7千円の赤字が見込まれている。

税抜きでの前年度比較では、支出については13.06%の減額となる。

(3) 財源不足額

4条予算の赤字分については損益勘定留保資金等で補てんする。

2 予算（収入）の主な特徴

(1) 3条予算（収益的収入）

給水収益（水道料金）は、過去5年間の平均供給単価で試算して、前年比2.68%増の14億9,822万円とした。ただし、税抜き額で比較すると前年度より0.17%の減となる。

受託工事収益は、下水道工事に伴う仮給水工事等の減少が見込まれるため、前年度比39.85%減の2,581万6千円とした。

補償金は、前年度比1.89%増の96万8千円とした。

加入金は、ららぽーとの開発及び消費税率引き上げ計画に伴い、25.91%増の1億5,508万8千円とした。

会計基準の見直しにより今年度より新たに設けられた長期前受金戻入は、6,947万2千円を計上した。

(2) 4条予算（資本的収入）

他会計負担金は、一般会計から消火栓負担金211万円とした。

配水工事負担金は、開発に伴う配水管工事の負担金270万円とした。

3 予算（支出）の主な特徴

(1) 3条予算（収益的支出）

会計基準の見直しにより、各費目の人件費に賞与引当金繰入額を、総係費と特別損失に貸倒引当金繰入額を計上した。

①原水及び浄水費は、浄水場、配水場に係る経費で、設備の点検委託、動力費、受水費等で前年度比14.84%増の8億9,306万円とした。

【主な支出】

・ 県水受水費	6億1,701万6千円
・ 各浄、配水場、第2号井～第5号井等の電気料	5,080万2千円
・ 浄水場運転、設備維持管理業務委託	6,539万4千円
・ 各浄、配水場施設修繕	1億972万8千円
・ 自家用工作物保安管理、点検委託	1,812万7千円
・ 水質検査、放射能水質検査委託	359万円

②配水及び給水費は、配水管その他浄水の配水に係る設備の維持及び作業に要する費用で前年度比5.46%増の1億3,728万3千円とした。

【主な支出】

・ 検定満期に係る量水器修繕	2,066万8千円
・ 検定満期メータ取替委託	1,687万8千円
・ 修繕待機業務委託	833万9千円
・ 給水装置竣工図更新委託	756万円
・ 漏水調査業務委託	648万円

③受託工事費は、給配水管の移設等の受託工事に要する費用で、前年度比30.42%減の3,843万9千円とした。

【主な支出】

・ 下水道、ガス、NTT、東京電力等の工事に伴う給水管布設替工事	2,397万6千円
----------------------------------	-----------

④業務費は、前年度比1.80%増の1億1,758万6千円とした。

【主な支出】

- ・包括委託費等 7, 420万5千円
- ・通信運搬費 982万8千円
- ・電算処理負担金 479万1千円

⑤総係費は前年度比23.15%減の4,806万6千円とした。

【主な支出】

- ・貸倒引当金繰入額 418万9千円

⑥減価償却費は、建物、構築物（配水管）、機械及び装置の減価償却として、3億5,193万6千円とした。

⑦資産減耗費は、構築物などの固定資産除却費で、351万円とした。

⑧営業外費用の支払利息は、8,625万4千円とした。

⑨消費税は、消費税及び地方消費税見込額として、1,634万1千円とした。

⑩特別損失、その他の特別損失に期末勤勉手当分と貸倒引当金繰入額として、2,920万1千円を計上した。

(2) 4条予算（資本的支出）

建設改良費は、前年比18.66%減の4億338万4千円とした。

①老朽管更新事業費は、前年度比36.33%増の1億9,958万4千円とした。

【主な支出】

- ・配水管布設替工事、舗装本復旧工事 1億9,310万4千円

②浄水場改良費は、前年度比1.76%減の1億2,687万3千円とした。

【主な支出】

- ・東大久保浄水場PC配水池耐震補強工事 1億2,624万1千円

③配水管改良費は、前年度比79.95%減の3,737万4千円とした。

【主な支出】

- ・配水管布設工事、開発に伴う配水管布設工事等 2,381万4千円
- ・水道相互連絡管布設工事負担金（志木市） 600万円

④量水器費は、新規の水道メータ購入費で307万7千円とした。

⑤固定資産購入費は、車両運搬具として軽自動車2台の購入費用286万1千円とした。

⑥企業債償還金は、2億1,106万3千円とした。

■平成26年度富士見市水道事業会計予算

収益的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	本年度予算額	対前年度増減額
1 水道事業収益			1,799,014	125,476
	1 営業収益		1,690,122	54,964
		1 給水収益	1,498,220	39,116
		2 受託工事収益	25,816	△ 17,103
		3 補償金	968	18
		4 加入金	155,088	31,913
		5 その他の営業収益	10,030	1,020
	2 営業外収益		108,392	70,512
		1 受取利息	1,470	0
		3 長期前受金戻入	69,472	69,472
		5 雑収益	37,450	1,040
	3 特別利益		500	0
		1 過年度損益修正益	500	0

支出

(単位：千円)

款	項	目	本年度予算額	対前年度増減額
2 水道事業費用			1,723,877	119,273
	1 営業費用		1,590,880	93,639
		1 原水及び浄水費	893,060	115,394
		2 配水及び給水費	137,283	7,102
		3 受託工事費	38,439	△ 16,803
		4 業務費	117,586	2,076
		5 総係費	48,066	△ 14,477
		6 減価償却費	351,936	3,847
		7 資産減耗費	3,510	△ 3,500
		8 その他の営業費用	1,000	0
	2 営業外費用		102,596	1,105
		1 支払利息	86,254	△ 8,990
		2 消費税及び地方消費税	16,341	10,095
		3 雑支出	1	0
	3 特別損失		29,401	24,529
		4 過年度損益修正損	200	△ 4,672
		5 その他の特別損失	29,201	29,201
	4 予備費		1,000	0
		1 予備費	1,000	0

■平成26年度富士見市水道事業会計予算

資本的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	本年度予算額	対前年度増減額
3	資本的収入		4,810	310
	4	他会計負担金	2,110	110
		1 他会計負担金	2,110	110
	5	工事負担金	2,700	200
		1 配水工事負担金	2,700	200

支出

(単位：千円)

款	項	目	本年度予算額	対前年度増減額
4	資本的支出		614,447	△ 83,581
	1	建設改良費	403,384	△ 92,569
		1 建設総係費	33,615	4,530
		2 老朽管更新事業費	199,584	53,187
		3 浄水場改良費	126,873	△ 2,277
		4 配水管改良費	37,374	△ 149,054
		5 量水器費	3,077	1,009
		6 固定資産購入費	2,861	36
	2	企業債償還金	211,063	8,988
		1 企業債償還金	211,063	8,988